

日本遺産認定記念 テーマ展

木札に託された ムツセーシシ

都(の貢納物につけた荷札)〈複製 現品は奈良文化財研究所蔵〉

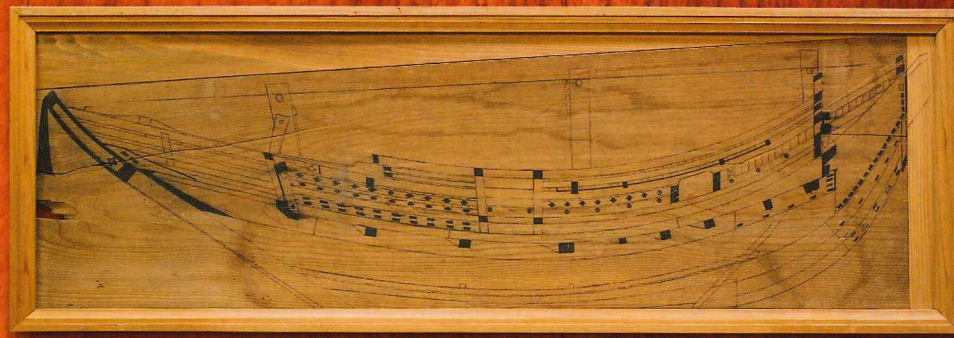
若狭國遠敷郡車持御積細螺場

若狭國遠敷郡野埴野里
奉文屋調三

礼西國三所頒礼儀州住持
十二月八日

三國津波記
長原州の舟師
住人(舟師)
沙路(舟師)

霊場巡礼の記念に奉納した木札(飯盛寺所蔵)



北前船の設計図(富士家所蔵)

船往來の交
一巻列三方郡
久々子村 蛭子屋甚造船
伊勢丸 船頭 近宗
水子 四ノ下
右、通会中遠出廻りおのり
首領以上 若狭三方郡久々子村
嘉永二年酉歳 庄屋 源八
諸國津波の 舟師 庄屋 源八
舟師 源八
舟師 源八

船往來の手形(川藤家所蔵)

ふだん何気なく
目にしてゐる木札。
そこには私たちの
知らない歴史が
隠されています。

空襲 國産 舟

萬金丹賣 根元 本方 京北野西京北町梅軸軒

平成28年 3月26日(土) ~ 5月15日(日)
●会期中の休館日は 3/28(月)・4/11(月)・25(月)

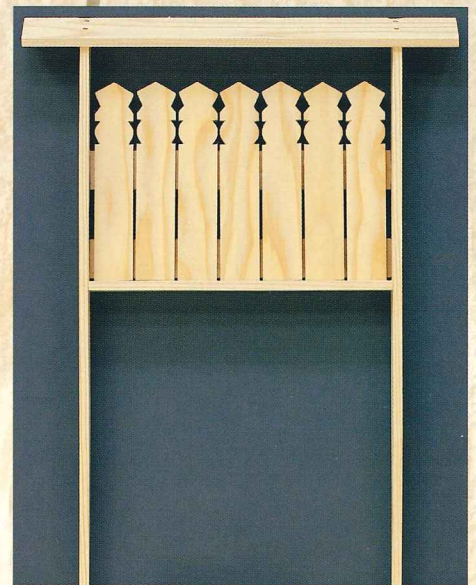
- 開館時間 9:00~17:00 (入館は16:30まで)
- 入館料 一般・大学生 300円
団体 240円 (有料の方が20名以上)
- ※ 高校生以下・満70歳以上の方・障害者手帳等をお持ちの方は無料
- ※ 常設展もあわせてご覧いただけます。



母の追善供養に銭を寄進したことを記す札〈羽賀寺所蔵〉



羽賀寺縁起の保管場所に立てた木札〈羽賀寺所蔵〉



墓地に立てた七本塔婆〈複製 当館所蔵〉



食品類の
商店看板
〈当館所蔵〉



萬金丹売捌所の看板〈当館所蔵〉



薬の販売取次所の看板〈当館所蔵〉



塗り物屋の看板〈当館所蔵〉



「空襲警報発令中」の表示板〈当館所蔵〉

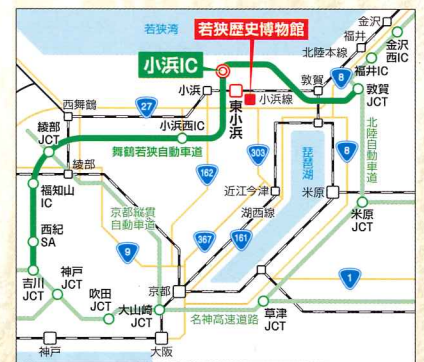
木札に託されたメッセージ

看板・表札・卒塔婆など、私たちの周りには文字を記した木札があちこちで使われています。

紙やプラスチックがあふれる現代社会で、いまだに木が使われているのは何故でしょうか。

それは木が持つ便利さや見た目の美しさにほかなりません。

本展では、古代の荷札から現代の看板にいたるまで、時を超えて使われたさまざまな木札を展示することで、人々が何故木に文字を記してきたのか、どんなメッセージを込めたのかを紹介いたします。



〈関連行事〉郷土史講座 「木簡からみた御食国・若狭」
5月15日(日) 13:30~15:00 講師 舘野和己氏〈奈良女子大学 教授〉※ 聴講無料

福井県立若狭歴史博物館

〒917-0241 福井県小浜市遠敷2丁目104 TEL 0770-56-0525 FAX 0770-56-4510
http://wakahaku.pref.fukui.lg.jp/ 福井県立若狭歴史博物館 https://www.facebook.com/fukui.wakahaku

● 舞鶴若狭自動車道小浜ICから東へ5分
● JR東小浜駅から東へ徒歩7分